

平成26年度 十文字元気プロジェクト実施報告

No.	プロジェクト名称	代表者	構成員	担当教員	プロジェクト活動概要
1	ゆずプロジェクト	児童教育学科 12JB086 若林 沙理	13名	児童教育学科 狩野教授	小川町腰越地区腰越において、はじめは地区の環境整備事業や行事に参加して交流をはかった。共同作業の中で、地域貢献における理解と協働の重要性を実感した。1月にゆずの収穫を行い、試作を繰り返して、2月の新座市商工会主催チャリティー餅つきで「ゆず味噌ポテト」「ゆずゼリー」を作製販売。好評を博した。地域にある価値ある素材を発見するとともに、学生の社会性・コミュニケーション能力の育成が実現できた。
2	サロン・ド・アフターファイブ Jumonji	メディアコミュニケーション学科 12JG061 原田 紗帆	11名	メディアコミュニケーション学科 棚谷准教授	放課後の教室を利用して、ミニコンサート(11/10ピアノコンサート、1/19チェロコンサート)を開催。学生だけではなく多くの学内関係者が来場してくれ、学生と先生との交流の場にもなった。来場者に行ったアンケート結果からは、日常では中々体験できない、所謂、非日常体験による満足感が読み取れる。当初の目的である十文字学園女子大学の「放課後の活気」が引き出せたのみならず、イベントの企画・運営を行うことで、メンバーの計画力、交渉力が養われた。
3	太田部が元気になる支援プロジェクト	人間福祉学科 12JE058 矢野 涼香	11名	人間福祉学科 野島准教授	秩父市太田部地区の限界集落の支援活動として、一人暮らしの高齢者宅訪問、地区のお祭りへの参加、太鼓の披露など、地域貢献活動を行った。このプロジェクトを通して、太田部地区の住民との交流や高齢者の方々の活気付けができたとともに、活動したメンバー自身が村の人たちから元気をもらい、山村の生活の知恵を学ぶことができた。
4	日本の大自然と世界遺産を広めよう	児童教育学科 12JB045 佐田 和香奈	3名	児童教育学科 増田副学長	現地(知床)に行き、現地を探索取材することで、深く知床を知ることができた。取材をもとに知床を舞台にした絵本「ぽぽのぼうけん」を製作し、本学図書館、市内の図書館、近隣の小学校などに寄贈。校内の活性化を地域につなげる契機とした。
5	小川町七夕&ユネスコ十文字プロジェクト	メディアコミュニケーション学科 12JG021 奥山 海憂	30名	メディアコミュニケーション学科 松永教授	7月26・27日開催の小川町七夕まつりにおいて、十文字生が提案するイベント企画の準備・運営を行った。七夕まつりは平成23年からメディコミの学生を中心に参加し、特に小川町商工会との信頼関係は深まっている。今年は他学科の学生や留学生も参加し、国際交流の場にもなった。この活動により、本学のアピールだけでなく、十文字生が伝統文化への理解を深め、埼玉の文化に対する誇りを感じるきっかけとなった。